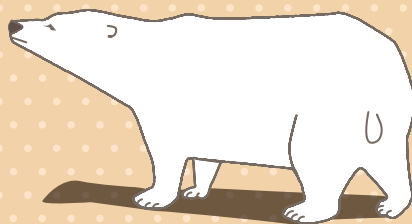


みえ性暴力被害者支援センター

寄り添う心

よりこ

よりこに
できること



相談時間 9時～17時 (土日祝、年末年始除く)

相談専用電話 059-253-4115 または #8891

通話料がかかります。通話料は無料です。

上記相談時間以外は、夜間休日対応コールセンターへつながります。

「だれに相談したらいいか
分らない・・・」

「話を聞いて欲しい・・・」

すこしでも思い当たることがあれば、ひとりで抱え込まず、
「よりこ」に相談してください。

性暴力とは

あなたの望まない性的な行為はすべて性暴力です。

性暴力被害を受けると・・・

体や心に大きなダメージや傷を受け、時間がたっても恐怖や不安で混乱した状態になります。

こんなとき、
ありませんか

- 自分がいやになる
- 気持ちが落ち込む
- 被害時の情景が突然よみがえる など・・・

プライベートゾーンはどこかな？



こたえは・・・
みずぎを きると かくれるところ。
じぶんだけの だいじなばしょ だよ。
おくちや むねも
だいじな ぶぶんだよ。



もし きみが プライベートゾーンを
みられたり さわられたり したら？



「いや」って いおうね！
おとなにも おはなししてね！

よりこに できること

医療機関の紹介

産婦人科等と連携し、医療的支援
をおこないます。

付き添い支援

希望に応じて、病院等への付き
添いをおこないます。

みえ性暴力
被害者支援センター
よりこ

弁護士による法律相談

希望に応じて、弁護士による法律
相談がうけられます。

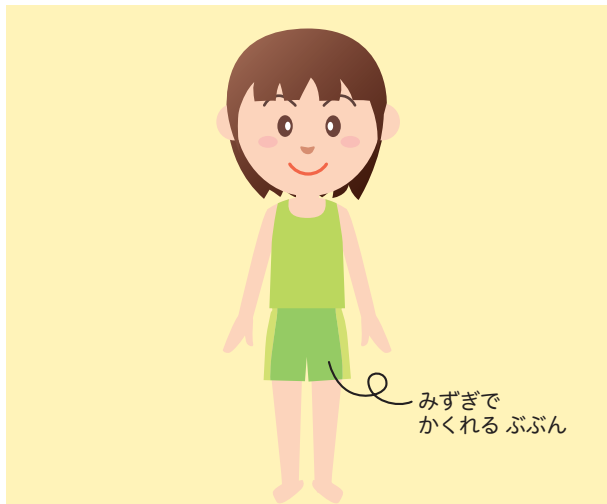
相談員等による面接相談

専門の相談員(カウンセラー)が
お話をうかがいます。

保護者の方へ ～プライベートゾーンについて話しましょう～

自分を守る力をつけよう

子どもたちは、必要な知識が身につけていないため抵抗することや相談することができず、性被害にあってしまったり、性被害だと気付くまでに何年も経ってしまうことがあります。



プライベートゾーンとは「水着を着ると隠れる部分」

- 自分だけの大事な場所。簡単に見せたり触らせたりしてはダメ。
- 見られたり触れられたりしそうになったら「いや」と言う。大人に相談する。

プライベートゾーンの知識は心と身体を守る力になります。

子どものSOSに気づいて

「まさか」と思いこまないで

「身近にいる」「よく知っている」人が子どもの安全を脅かすこともあります。



SOSのサインは思わぬ形で現れる

子どもは、言葉ではなく行動や体調にSOSが現れることがあります。



SOSのサインかな？と思ったら

いつもとちょっと違う子どもの様子に気付いたら、安心して話せる雰囲気を作ってあげましょう。



子どもからSOSがあったら？

▶ お子さんの話を信じてあげましょう

大きく嘆いたり、驚きすぎたり、疑ったりすると、子どもは話を引き込めてしまいます。一呼吸おいて「よく話してくれたね」と伝えてあげましょう。

▶ お子さんを責めないで

「なぜ」「どうして」という言葉をつかうと、子どもは責められているように感じます。「あなたは悪くない」と伝えてあげましょう。内容を聞きすぎたり、「忘れなさい」と被害にフタをしないようにしましょう。



▶ 「性被害かも...」と思ったら

みえ性暴力被害者支援センターよりこへご相談を(裏面)

